

CASBEE-建築(新築)2014年版
 (仮称)向日市寺戸町計画 新築工事 自走式駐車場棟

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.3
Q1 室内環境						
1 音環境						
1.1 騒音						
1.2 遮音						
1 開口部遮音性能						
2 界壁遮音性能						
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						
1.3 吸音						
2 温熱環境						
2.1 室温制御						
1 室温						
2 外皮性能						
3 ゾーン別制御性						
2.2 湿度制御						
2.3 空調方式						
3 光・視環境						
3.1 昼光利用						
1 昼光率						
2 方位別開口						
3 昼光利用設備						
3.2 グレア対策						
1 昼光制御						
3.3 照度						
3.4 照明制御						
4 空気質環境						
4.1 発生源対策						
1 化学汚染物質						
4.2 換気						
1 換気量						
2 自然換気性能						
3 取り入れ外気への配慮						
4.3 運用管理						
1 CO ₂ の監視						
2 喫煙の制御						
Q2 サービス性能			0.43			2.3
1 機能性						
1.1 機能性・使いやすさ						
1 広さ・収納性						
2 高度情報通信設備対応						
3 バリアフリー計画						
1.2 心理性・快適性						
1 広さ感・景観						
2 リフレッシュスペース						
3 内装計画						
1.3 維持管理						
1 維持管理に配慮した設計						
2 維持管理用機能の確保						
2 耐用性・信頼性						
2.1 耐震・免震						
1 耐震性		2.2	0.50			2.2
2 免震・制振性能		3.0	0.50			
		3.0	0.80			
		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		1.0	0.30			
1 躯体材料の耐用年数						
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		1.0	1.00			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						
6 主要設備機器の更新必要間隔						

2.4 信頼性		2.0	0.20			
1	空調・換気設備	-	-			
2	給排水・衛生設備	-	-			
3	電気設備	3.0	0.50			
4	機械・配管支持方法	1.0	0.50			
5	通信・情報設備	-	-			
3 対応性・更新性		2.4	0.50			2.4
3.1 空間のゆとり		1.0	0.30			
1	階高のゆとり	1.0	1.00			
2	空間の形状・自由さ	-	-			
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30			
3.3 設備の更新性		3.0	0.40			
1	空調配管の更新性	-	-			
2	給排水管の更新性	-	-			
3	電気配線の更新性	3.0	1.00			
4	通信配線の更新性	-	-			
5	設備機器の更新性	-	-			
6	バックアップスペースの確保	-	-			
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.57	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30			2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	1.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性						3.4
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		-	-			3.0
2 自然エネルギー利用		-	-			-
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) 0.83	5.0	0.71		5.0
集合住宅以外の評価(3a,3b)		BEI値 0.7以下	5.0	1.00		
集合住宅の評価(3c)						
4 効率的運用		3.0	0.29			3.0
集合住宅以外の評価		3.0	1.00			
4.1	モニタリング	-	-			
4.2	運用管理体制	3.0	1.00			
集合住宅の評価						
4.1	モニタリング	-	-			
4.2	運用管理体制	-	-			
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護		3.0	0.20			3.0
1.1 節水		-	-			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	1.00			
1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70			
2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減		2.6	0.60			2.6
2.1	材料使用量の削減	2.0	0.11			
2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.22			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.22			
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.22			
2.5	持続可能な森林から産出された木材	-	-			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	4.0	0.22			
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20			3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	1.00			
3.2 フロン・ハロンの回避		-	-			
1	消火剤	-	-			
2	発泡剤(断熱材等)	-	-			
3	冷媒	-	-			
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	2.8
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO ₂ の排出率が一般的な建物以下	4.7	0.33		4.7
2 地域環境への配慮			2.1	0.33		2.1
2.1 大気汚染防止			-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.67		
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.3	0.33		
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.33		
2	汚水処理負荷抑制		-	-		
3	交通負荷抑制		3.0	0.33		
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.33		
3 周辺環境への配慮			1.6	0.33		1.6
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			-	-		
1	騒音		-	-		
2	振動		-	-		
3	悪臭		-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			1.6	0.67		
1	風害の抑制		1.0	0.70		
2	砂塵の抑制		-	-		
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		
3.3 光害の抑制			1.6	0.33		
1	屋外照明及び屋内照明のうらみに漏れる光への対策		1.0	0.70		
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		